

## (2) 主要な都市基盤・都市施設整備状況

### 1) 主要な都市基盤整備状況

#### ① 土地区画整理事業

甲府市では、昭和 22 年に事業認可を得た戦災復興土地区画整理事業をはじめ、昭和 37 年には密集市街地の改造を目的とした泉町土地区画整理事業を、昭和 56 年には甲府市で初めてとなる組合施行の堀之内土地区画整理事業を実施するなど、良好な住宅地景観を形成してきました。

近年では、平成 25 年度の完成を目途に、甲府駅周辺地区 21.9ha の区域について、市施行の土地区画整理事業を実施しており、まとまりある市街地景観が形成されようとしています。

◆表一土地区画整理事業の状況

地区名	施工者	事業区分	施行面積 (ha)	事業認可日
戦災復興	甲府市長	都市計画事業	54.7	昭和 22 年 5 月 13 日
泉町	甲府市	都市計画事業	20.6	昭和 37 年 4 月 5 日
南西	甲府市	都市計画事業	63.7	昭和 42 年 3 月 3 日
堀之内	組 合	非都市計画事業	23.3	昭和 56 年 7 月 16 日
寿宝	甲府市	都市計画事業	14.6	昭和 60 年 1 月 25 日
神屋	組 合	非都市計画事業	1.3	昭和 61 年 1 月 16 日
住吉	組 合	都市計画事業	31.1	昭和 63 年 5 月 9 日
清水新居沖田	組 合	都市計画事業	0.3	平成 元年 2 月 10 日
古府中町	組 合	都市計画事業	12.3	平成 元年 5 月 18 日
甲府駅周辺	甲府市	都市計画事業	21.9	平成 3 年 12 月 12 日
国母駅北	組 合	非都市計画事業	5.6	平成 6 年 11 月 21 日
下飯田	組 合	非都市計画事業	5.6	平成 7 年 4 月 10 日
山宮	組 合	非都市計画事業	6.4	平成 8 年 9 月 5 日
大里	組 合	都市計画事業	18.8	平成 9 年 3 月 31 日

#### ② 工業団地造成事業

甲府市では、首都圏整備法に基づき、昭和 41 年 12 月甲府地区都市開発区域の指定を受け、都市の強化、産業支援のための拠点形成及び工業団地造成事業を行い、全国から電子電気機器産業、機械金属工業、精密機械等の先端技術産業を誘致するとともに、地場産業の育成を図っています。

国母工業団地は、昭和 53 年に甲府市、中央市、昭和町にまたがる約 97.3ha、22 区画の整備が完了し、甲府南部工業団地は、平成 20 年を目途に約 44.0ha、21 区画の完成を目指しており、良好な操業環境を形成しています。

#### ③ 市街地開発事業

甲府市では、老朽化した木造建築物が密集し、生活環境の悪化した市街地や災害の危険

性のある地区などにおいて、快適で安全な都市環境を再生するために、市街地再開発事業を実施しています。

国母南地区及び甲府中央 4E 地区で行われた再開発事業は既に完了し、現在、中心市街地に位置する甲府紅梅地区において市街地再開発事業が行われており、まとまりある都市景観が創出されようとしています。

◆表一市街地開発事業の状況

地区名	事業種別	施行者	施行面積 (ha)	施行期間
国母南	第一種	個人	2.5	平成 7- 9 年
甲府中央 4E 地区	第一種	個人	0.4	平成 7-10 年
甲府紅梅地区	第一種	組合	0.6	平成 18-22 年 (予定)

④ 用途地域の指定

甲府市では、都市における雑多な建築物の混在を防ぐため、それぞれの地域の実情に応じ、用途、形態、密度等に関する一定の規制を定め、用途の純化を図り、住居、商業、業務、工場等諸機能の適正な配置を誘導し良好な都市環境を確保するために、都市計画法に基づく用途地域を 3,078.5ha の区域で定めています。

この用途地域内で建築物を建築する場合には、地区の良好な環境を守り、創出するために建築物の用途や大きさなどが制限されています。

◆表一用途地域の指定状況

【平成 19 年 3 月 31 日現在】

種類	指定の対象となる地域	指定面積 (ha)	
住居系	第 1 種低層住居専用地域	低層住宅の良好な環境を守るための地域	392.0
	第 2 種低層住居専用地域	主に低層住宅の良好な環境を守りつつ、小規模な店舗などの立地を許容する地域	8.9
	第 1 種中高層住居専用地域	中高層住宅の良好な環境を守るための地域	896.0
	第 2 種中高層住居専用地域	主に中高層住宅の良好な環境を守りつつ、中規模な店舗などの立地を許容する地域	118.0
	第 1 種住居地域	住居の環境を守るための地域	699.0
	第 2 種住居地域	住居と店舗、事務所などの併存を図りつつ、住居の環境を保護する地域	156.0
	準住居地域	道路の沿道などにおいて自動車関連施設などの立地と、これと調和した住居の環境を保護するための地域	97.0
商業系	近隣商業地域	郊外の商業地など小規模のもので、近隣の住宅地の日用品の供給を主な内容とする商業やその他の業務の立地を図るべき地域	68.6
	商業地域	甲府駅周辺などの大規模な商業、業務、娯楽施設などの集中的な立地を図るべき地域	272.0
工業系	準工業地域	主に環境の悪化をもたらすおそれのない工業の利便を図るべき地域	221.0
	工業地域	主に工業の利便を図るべき地域	59.0
	工業専用地域	既存の工業団地など住宅地の混在を排除し、又は防止すべき地域や工業地を計画的に整備すべき地域	91.0

## 2) 主要な都市施設の状況

### ① 都市計画道路の整備状況

甲府市では、国・県とともに、甲府市の道路交通体系の骨格をなす都市計画道路の整備を進めており、これまで、国道・県道を含め 39 路線（総延長約 116km）が都市計画決定されており、平成 19 年 3 月 31 日現在で約 65km が改良済みという状況です。

都市計画道路をはじめとする幹線道路の多くは、無電柱化や街路樹の植栽なども行われ、山並みや町並みを眺望できる貴重なオープンスペースとしての役割を果たすとともに、うるおいのある都市景観を創出しています。

◆表一 都市計画道路の整備状況 【平成 19 年 3 月 31 日現在】

区 分	路線数	計画延長 (m)	改良済延長 (m)	整備率 (%)
幹線街路	30	113,210	62,596	55.3
区画街路	7	2,290	2,184	95.4
特殊街路 (歩行者道等)	2	740	400	54.1
合 計	39	116,240	65,180	56.1

### ② 都市計画公園の整備状況

甲府市では、県とともに市民の憩いとうるおいの場となる都市計画公園として、愛宕山広域公園や曾根丘陵公園などの大規模な広域公園をはじめ、身近な街区公園などの整備を進めています。

これまで、40 箇所（面積 255.34ha）の公園が都市計画決定され、平成 19 年 3 月 31 日現在で 35 箇所（面積 237.17ha）の公園・緑地が整備されており、うるおいのある都市景観を創出するとともに、貴重な眺望空間としての役割を果たしている公園もあります。

◆表一 都市計画公園の整備状況 【平成 19 年 3 月 31 日現在】

公園の種類別		都市計画決定		開 設	
		箇所数	面積 (ha)	箇所数	面積 (ha)
住区基幹公園	街区公園	23	7.54	22	7.03
	近隣公園	8	15.60	6	10.90
	地区公園	2	10.70	1	6.10
都市基幹公園	運動公園	2	74.60	2	73.70
特殊公園	特殊公園	2	6.70	1	6.10
広域公園		2	91.50	2	87.20
緑 地		1	48.70	1	46.14
合 計		40	255.34	35	237.17

### ③ 都市河川の状況

甲府市は、笛吹川や荒川をはじめとする多くの一級河川、普通河川が流れており、市民生活や産業活動などに利用されています。

河川空間は、流域に広がる田園・果樹園などとともに、甲府市の貴重な自然景観を創出しているとともに、連続するオープンスペースは、富士山や八ヶ岳連峰などを眺望する貴重な空間としても重要な役割を果たしています。

◆表一河川の現況 【平成 19 年 3 月 31 日現在】

区分	河川数	延長 (m)	備考
一級河川	52	148,700	—
砂防指定区河川	53	68,080	—
普通河川	162	175,384	—
生活関連水路	—	1,727,716	推定

◆表一都市河川の整備状況 【平成 19 年 3 月 31 日現在】

名称	幅員 (m)	延長 (m)	施行済延長 (m)	計画決定日
濁川	88～22	9,450	8,550	昭和 48 年 1 月 29 日
沼川	22	1,200	1,200	〃
蛭沢川	33～18	4,390	4,390	〃
新五割川	25～23	2,300	1,760	〃
五割川	21	1,700	1,500	〃

#### ④ 主要な観光資源の状況

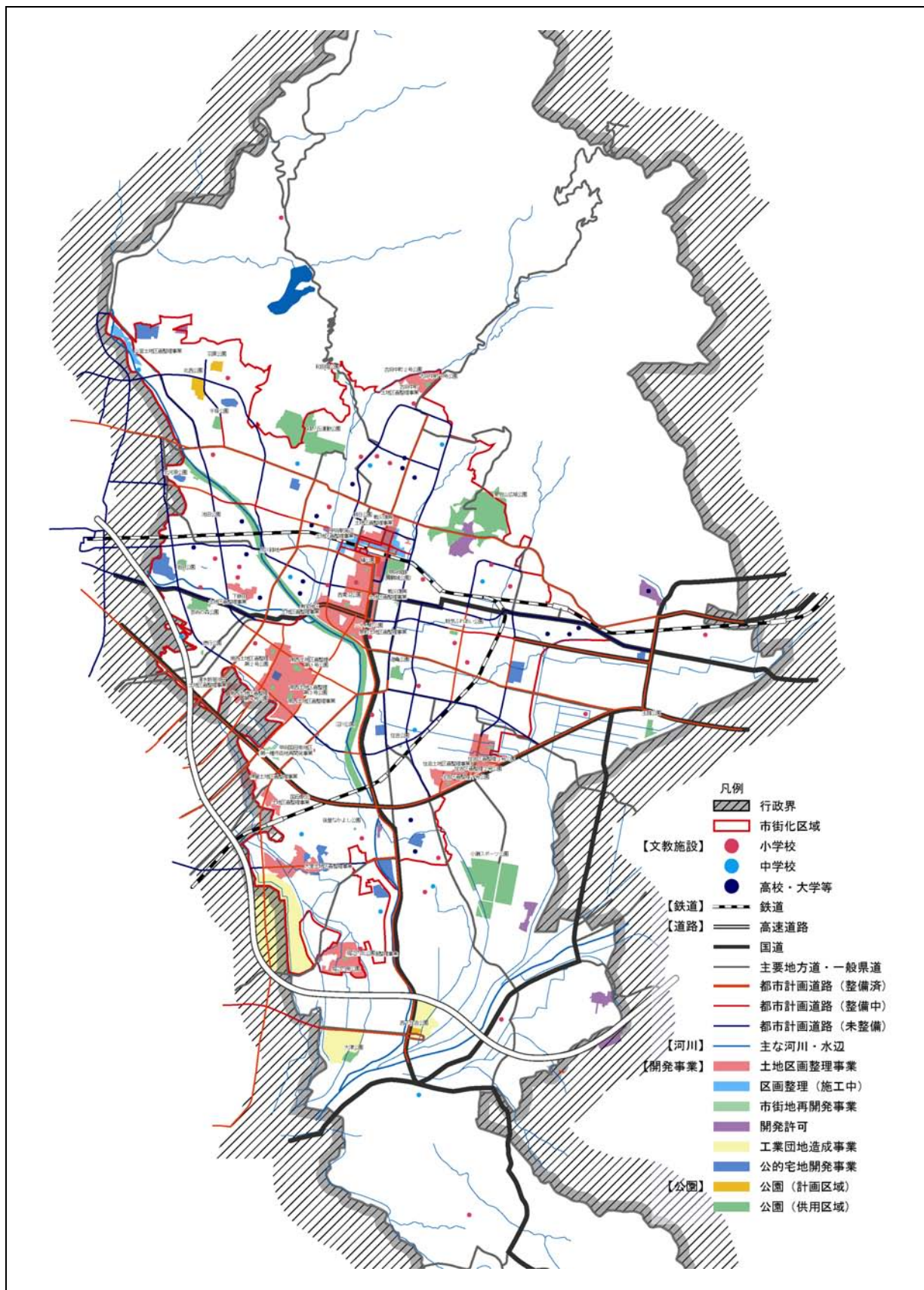
甲府市は、御岳昇仙峡に代表される豊かな自然環境をはじめ、武田神社や甲府城跡（舞鶴城公園）、甲斐善光寺などの歴史資源、ももやぶどうなどの果樹園や温泉郷などの多くの観光資源を有しており、これらは甲府を特徴づける景観を形成しています。また、フルーツやワインなどの食、宝石・印伝などの伝統工芸品などの資源も有しています。

JR 中央本線や中央自動車道などの交通ネットワークにより、多くの観光客が甲府市を訪れています。平成 12 年度以降、観光入込客数は、横ばい傾向から減少傾向にありましたが、観光キャンペーンやメディア等の PR 効果で、次第に持ち直しつつあります。

◆表一観光入込客数の推移 (単位：千人)

	昇仙峡 千代田湖	温泉郷	ぶどう郷	武田神社	甲斐善光寺	県立美術館	県地場産業 センター	計
平成 8 年	5,107	1,412	489	3,385	789	328	255	11,765
平成 9 年	5,798	1,406	465	3,585	1,231	240	274	12,999
平成 10 年	5,363	1,331	438	3,404	723	294	242	11,795
平成 11 年	5,334	1,198	400	3,377	716	211	270	11,506
平成 12 年	5,561	1,213	312	3,717	729	203	298	12,033
平成 13 年	4,937	1,195	229	2,670	454	167	284	9,936
平成 14 年	4,465	1,178	200	2,685	424	438	313	9,703
平成 15 年	4,153	1,142	154	2,518	675	288	294	9,224
平成 16 年	4,207	1,166	132	2,770	497	270	267	9,309
平成 17 年	4,412	1,187	119	2,925	364	320	267	9,594

◆ 図一 主要な都市施設整備状況図





◆図一 主要な観光レクリエーション施設等分布状況図

